

⑧ 移住・定住化促進事業の実施	
【施策の概要】	
<p>亶理町への移住・定住を促進するため、亶理町への移住を検討している方、物件を探している方などへの情報提供や、移住・定住等に関する質問に答える窓口体制の確立を図るとともに、住宅、雇用、子育て支援など、各種取り組みを総合的に展開する。また、国が進める「わくわく地方生活実現政策パッケージ」に基づく移住支援事業を宮城県及び県内全市町村と共同で行い、東京一極集中の是正および本町の担い手不足の解消を図る。</p>	
【主な取り組み】	
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 亶理町公式サイトに移住・定住関連情報の充実・強化 ➤ 「全国移住ナビ」や「ニッポン移住・交流ナビ」などのサイトを活用した相談窓口への誘導 ➤ 住宅物件情報の提供 ➤ 住宅や暮らし、子育てに関わる各種助成制度の検討 ➤ みやぎ移住サポートセンターとの連携強化 ➤ 東京圏からの移住者（移住地域での就業・起業を伴う）に対して支援金を給付 	
【担当課】	企画財政課
【「第5次亶理町総合発展計画」との関係】	
○重点的な取り組み	（基本戦略「定住化促進計画」）
○施策項目	第1章 5(3) 宅地開発・住宅建設の促進 第2章 1(1) 地域農業の担い手の明確化と重点支援の推進 第2章 1(8) 水産業の振興 第2章 3(4) 起業支援相談体制の確立

⑨ 公共ゾーンのふれあい空間整備	
【施策の概要】	
<p>保健福祉センター、役場庁舎、学校給食センター、町民会館、町民体育館の整備を進める予定の公共ゾーンについては、施設を整備するととどまらず、地域コミュニティ、交流、やすらぎの場としての付加価値をもった空間として整備を推進する。</p>	
【主な取り組み】	
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 町民が気軽に訪れ、町民の協働のまちづくりを推進するためのスペースの整備 ➤ 来庁者同士、また、来庁者と町職員のコミュニケーションが取れるスペースの提供 ➤ 町民が集う交流の場として、また、展示や情報発信の場として、多目的に利用できるふれあい空間づくり ➤ 周辺への商業機能（飲食・サービス機能等）の立地検討 	
【担当課】	企画財政課・都市建設課
【「第5次亶理町総合発展計画」との関係】	
○重点的な取り組み	公共ゾーンプロジェクト
○施策項目	第1章 2(3) 公共ゾーンの整備推進

4) 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)	現況値	目標値 (平成 31 年)
鳥の海SIC乗降車数 (根拠資料:町調べ)	—	2,000 台/日
主要イベントへの参加者数 (根拠資料:町調べ)	80,000 人/年 (平成 27 年)	100,000 人/年
亘理インフォメーションシステムへのアクセス数 (根拠資料:町調べ)	—	280,000 件/年
町公式ホームページへのアクセス数 (根拠資料:町調べ)	1,946,657 件/年 (平成 27 年)	2,400,000 件/年
JR亘理駅の乗車人員 (根拠資料:JR東日本「各駅の乗車人員」)	2,195 人/日(平均) (平成 26 年度)	2,300 人/日(平均) (平成 31 年度)
移住・定住相談件数 (根拠資料:町調べ)	0 件/年 (平成 26 年度)	20 件/年
移住支援金給付件数 (根拠資料:町調べ)	0 件/年 (平成 30 年度)	1 件/年
庁舎交流スペース一日平均利用者数 (根拠資料:新庁舎建設基本構想・基本計画)	—	115 人/日 (ロビー30人、交流スペース 80人、キッズスペース5人)